

大泉

言語活動の充実

副校長 武井 和幸

『自分の思っていることや考えていることをまわりの人に話しますか。』

これは、昨年度六年生の学力調査テストで、意識調査の中にあつた問題です。四段階評価【話す】・【わりと話す】・【あまり話さない】・【話さない】で子供たちは回答をしました。

大泉小では【話す】が30・6%と全国平均を8%以上も上回っていました。【わりと話す】も合わせると70%の子供が自分の思っていることや考えていることを話していることが分かりました。

この結果を見て、本校で取り組んでいる教育活動全体で言語活動を充実し、「聞く」「話す」の能力の向上を図ります。その成果が挙がっていると考えています。

言語活動というと、国語の授業を思い浮かべる人も多いかと思いますが、学校での教育活動のいたるところで言語活動が充実するようにしています。例えば、次のような場面があります。

《学習中》

国語や算数などの教科では自分の考えをまとめ、二人組やグループ、全体で発表します。また、図工や音楽、体育、家庭科などの教科においても友達との作品や演奏、技能などを話し合う場面を取り入

< 発行 >
練馬区立大泉小学校

< 所在地 >
練馬区東大泉 4-25-1

TEL 03-3924-0144
FAX 03-5387-2092



れています。また、言語活動は発表だけでなく、言葉でノートにまとめたり、読んだりする活動も含まれます。

《特別活動》

五月には、六年生の移動教室の出発式と帰校式の時に子供が司会をしたり、代表者が堂々と言葉を発表したりする場面がありました。これも言語活動であると思えます。九月には、運動会もあります。

一年生の始めの言葉や六年生の終りの言葉もご期待ください。また、今年度は十一月に学芸会も実施します。舞台の上で、セリフを言うことも言語活動の一つです。

委員会活動では、集委員会が集会の司会進行などで全校へ発表する場面があります。他の委員会もそれぞれの場面で、全校へ向けての発信があります。

このように教育活動のいたるところで言語活動により、子供たちの「聞く・話す」能力が身に付いてきます。しかし、この「聞く・話す」能力は、すぐに身に付くものではありません。ぜひ、ご家庭でも子供たちの話を聞いたり、何かについて話し合ってみるといったことをしてみてください。

さらに多くの子供たちが、自分の思っていることや考えていることをまわりの人に上手に伝えたり、聞き取ったりできるように、これからも指導を続けてまいります。

7月・8月の行事予定

- 7月
 - 1日(月) 個人面談(5時間授業)
 - 2日(火) 合同プール(五)
 - 3日(水) 個人面談(5時間授業)
 - 4日(木) 都学力調査(5)
 - 5日(金) 委員会活動
 - 6日(土) 個人面談(5時間授業)
 - 7日(日) 合同プール(五)
 - 8日(月) 個人面談(5時間授業)
 - 9日(火) 個人面談(5時間授業)
 - 10日(水) 安全指導・安全点検
 - 11日(木) 下田宿泊学習前検診(五)
 - 12日(金) 避難訓練(一斉下校)
 - 13日(土) クラブ活動
 - 14日(日) 13日(土)
 - 15日(月) 下田合同宿泊学習(五)
 - 16日(火) 土曜授業日
 - 17日(水) 海の日
 - 18日(木) 5時間授業
 - 19日(金) 4時間授業(特時)
 - 20日(土) クラブ活動
 - 21日(日) 夏休み前朝会
 - 22日(月) 給食終わり
 - 23日(火) 5時間授業
 - 24日(水) 2時間授業
 - 25日(木) 前期7月24日、8月2日
 - 26日(金) 秩父キャンプ(五)
- 8月
 - 1日(月) 夏季水泳指導後期開始
 - 2日(火) 後期8月19日、8月27日
 - 3日(水) 学力補充教室
 - 4日(木) 学力補充教室

《7月の生活目標》 「時間を守って生活しましょう」

新学期が始まって早いもので四か月になり、夏休みまで約三週間となりました。暑さも本格的になってくるため、疲れがでてくる時期です。

休み時間が終わると、保健室の前の廊下から教室に戻ろうとする子供たちの声が聞こえてきます。そして次の授業のチャイムが鳴る頃には、もう声は聞こえなくなっています。休み時間中のけがで、授業が始まってから保健室に来る子どももほとんどいなくなり、「時間を守る」ということを意識しながら過ごせているのかな、と嬉しく思っています。

「なぜ時間は守らなければいけないのでしょうか。」それは一人一人に与えられた時間の中で、その時間を無駄にせず使うため、全員が時間を守って生活することが大切だと思っております。やがて大人になって、「時間を守る」ことが必要となります。今から集団生活の場で子供たちにも、経験や学びを通して時間を大切にすることを覚えてもらいたいと思います。

時間を守り、規則正しい生活をして元気に登校できるよう、学校でも指導してまいります。ご家庭でのご協力をお願いいたします。(伊藤佳奈子)

『心のふれあい相談室』について
ふれあい相談員は、浅沼玲子相談員です。
・ 時間は：火曜日・水曜日
・ 金曜日：10時～15時
・ 16時～18時
・ 場所は：和室 で行います。

定期健康診断を終えて

六月三十日をもって、四月より実施してきました定期健康診断が終了しました。ご家庭の皆様のご協力、ありがとうございます。

健康診断の目的の一つとして学校の先生がおっしゃる結果や助言を真剣に聞き、姿勢や身体計測の際に、自分の成長を喜んでいく子供たちの姿がとて印象的でした。

健康カードは夏休みまでに返却していきます。ご家庭でもお子さんと一緒に成長を喜んで、日頃の生活習慣を振り返り返す機会になれば幸いです。

健康診断は、さまざまな疾病をスクリーニング(疑わしいものは抽出する方法)するのはもちろんのこと、子供たちが自分自身の体に興味をもち、「自分健康は自分で守る」、「もっと健康に生きたい」という自らの健康に対する意識を高めていくために進めています。

今回の健康診断の結果をふまえ、各ご家庭での生活習慣を見直し、毎日を「元気に楽しく」過ごしてほしいと願っています。そのためにはまず、周りにいる大人が健康の三原則である「食事・運動・睡眠」という調和のとれた生活を意識した姿を示すことで子供たちに伝えていきたいものです。今後とも、どうぞよろしくお願致します。

六月より水泳指導が始まっています。「受診のおすすめ」をお渡ししたお子さんは早めに医療機関を受診して頂きますようお願いいたします。全員が元気に楽しくプールに入れるようご協力ください。

(伊藤佳奈子)

岩井移動教室(六年)

今年度は海での活動を味わってきました。地元の干物店「いさばや」さんの指導の下、干物作りをしました。慣れない包丁と作業工程に戸惑いながらも、売り物とそっくりの開きに仕上げました。家で食べる自分で作った干物は格別においしく、干物の味に目覚めた若い小学生が多数誕生しました。

地引網体験も岩井ならではの楽しみの一つです。捕った魚の一部は夕食に出るといふことで「おかず、おかず」を合言葉に網を引きました。タイやスズキなどの大物とともに、虹色に輝くホウボウやタコにも大きな歓声があがりました。

磯では、岩を動かしたり、小さな隙間を覗いたりしながらカニ、ヒトデ、ナマコ、ウニなど次々と磯の生き物を見つけます。最後は、各班の見つけた生き物ベスト3の発表です。ここでも、クモヒトデやサルノコシカケなどに大きな歓声があがります。それにしても、何にでも盛り上がる子供たちです。

キャンプで大きい盛り上がりでした。そこには、一組、二組、五組、男女もなく、心を一つに楽しい時間を共有したいという子供たちの素直な気持ちが凝縮された素晴らしい時間でした。

移動教室が終わわり、ベルデ岩井から手紙が届きました。子供たちの挨拶や生活が「今までに見たことがない素晴らしいものでした」とのこと。これは、今後の励みにしたいと思えます。

岩井での絆をその場のノリで終わらせず、瑞々しい感性はさらに学びにつなげていくという責任の重さを改めて感じているところでもあります。(壺坂 憲司)

五組の様子

梅雨空の下、今朝のプールにも五組の子供たちの歓声と、それを励ます教員の声が響き渡っています。

五組では、毎朝身体をたくさん動かす、すつきりとした頭と体で一日を始めます。一緒に長い距離を走ったり、泳いだり、競い合ったりしながら、心も育ちます。泣きそうになりながら頑張る時、目標を達成した時に子供の心は揺すられ、深まっています。自分の心が深まる時にきくと、友達との思いに心をさせる気持ちが生まれるのでしよう。毎日の子供の表情に、いつもこんなことを感じます。

七月は、十一日から三日間、下田の合同宿泊学習に行きます。静岡県伊豆東海岸の散策と下田外浦海岸での海水浴を四つの学校で楽しんできます。また、二十五日からは高学年が秩父でキャンプをします。十月には軽井沢の鼻曲山縦走登山に挑みます。すでに四月から、山登りの遠足を二回楽しみました。

山や海で面白いことをたくさん見つけ、目を輝かせ心をわくわくさせる子供たち。山登りで頂上に立つ達成感を味わった後は重力に身を任せて下り坂を小走りで行く爽快感に歓声を上げる子供たち。浜に沿って長い距離を泳ぐ緊張感、プールとは違う海水の浮力、波や塩味、無尽蔵の砂にまみれる楽しさを味わい尽くす子供たち。どれもとてつもない学校では味わえない「最高の遊び」であり、「自ら学ぶ学習」です。「自然は子供を育てる」見守る私たちはつくづく思います。

毎朝友達と一緒に身体を動かす。一緒に物をつくる。一緒にがんばる中で、気遣いと思いやりが生まれています。人にとって一番自然で健康的な生活を、五組は大切にしています。

梅雨空の下、今朝のプールにも五組の子供たちの歓声と、それを励ます教員の声が響き渡っています。

給食室から

だんだんとまぶしい夏の日差しが感じられるようになってきました。むし暑い日が続く、疲れやすい季節です。こんな時こそこまめな水分補給と栄養バランスのとれた食事を心がけていただきたいと思います。

7月の給食は、旬の魚や夏野菜、果物などをたくさん使用し、とてもバランスのよい献立になっています。しっかりと食べて一日の活力にしてほしいと思います。

そのためにも作り方を工夫し、安全でおいしく、愛情の込められた給食を提供できると、調理員一同頑張っています。(給食室一同)

学童擁護より

「大きなランドセル 小さなランドセル」来た来た。大きなランドセルを背に上下左右にゆらしおもしろい手提げ袋を下げて心弾む、新一年生。とにかく元気、大きな声で「おはようございます」のあいさつ、心とむし思いです。入学から学校生活、2か月も過ぎると親の手を離れ、あの大きなランドセルも身体に馴染み、上級生のが、小さく見える。ランドセルに囲まれて歩く姿が微笑ましい光景です。

学校生活にも慣れたこのころが緩む時期でもあり、この子供たちを交通事故から守る我々シビルパー全員の使命でもあり、いっそう気が引き締まる思いであります。最後に赤い大きなランドセルの女の子の一言「おじさんどうして大人の人の信託が赤なのはどうして道を渡ると一言。その言葉にぐさりと胸にささる思いです。自分も含めて交通マナーの悪さに、あの大きな赤のランドセルの女の子に気付かされました。

擁護 安達 善幸